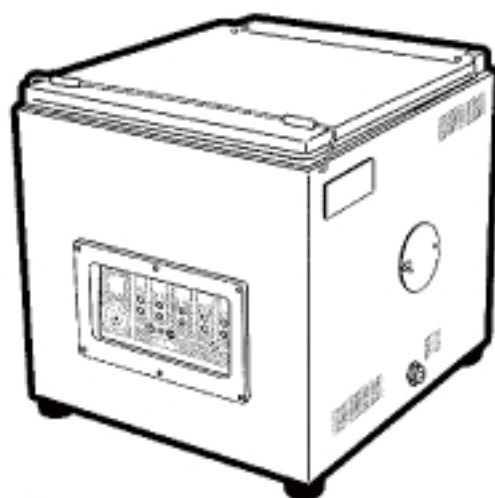


CHUBU



取扱説明書 (保証書付)

型式 **MEJ02A**
ME02GA

真 空 包 装 機

もくじ

- 安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- 十分に理解されるまでお使いにならないでください。
- この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保存してください。
- この取扱説明書で、「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し、「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。
- 仕様および外観は性能向上の為予告なく変更する場合があります。

- 1 安全のため必ず守ってください…1
- 2 各部のなまえ・付属品……………3
- 3 消耗品の紹介……………4
- 4 設置および使用前の準備…………4
- 5 使用方法（正しい使いかた）……5
- 6 日常の点検とお手入れの方法……8
- 7 ガス封入について……………9
- 8 故障の見分けかたと処置方法…10
- 9 仕様……………12
- 保証書・アフターサービスについて…巻末

安全のため必ず守ってください

1

- ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- 表示と意味は次のようになっています。

	警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示しています。
	注意	誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、 <u>物的損害</u> の発生が、想定される内容を示しています。 *

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

	感電注意	△は注意（危険・警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
	分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「分解禁止」を示します。
	プラグを抜く	●は、強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜くこと」を示します。

警告

- お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。
損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。
- アース工事を必ず行うこと
アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。（電気工事業者による第3種接地工事が必要です。）
- 電源は専用コンセントを使用すること
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。）
- 屋外で使用しないこと
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。
- 湿気の多い所や、水のかかり易い場所に据え付けないこと
絶縁低下から漏電、感電の原因になります。
- 熱器具（ガスコンロ等）を周囲に置かないこと
熱でカバー等が変形したり溶けたりして危険です。
- 本機は業務用ですので子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないこと
感電、ケガの原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、汚さないこと
加工したり、引張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に確認し、ガタツキのないように刃の根元まで確実に差し込むこと
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、電源スイッチを操作しないこと
感電の原因になります。
- 異常時は、電源スイッチを「切」にして電源プラグを抜き、元電源を切って、すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること
異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。
- 修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理しないこと
異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの原因になります。
- 直射日光のあたるところで使用しないこと
カバー等が割れたりして危険です。

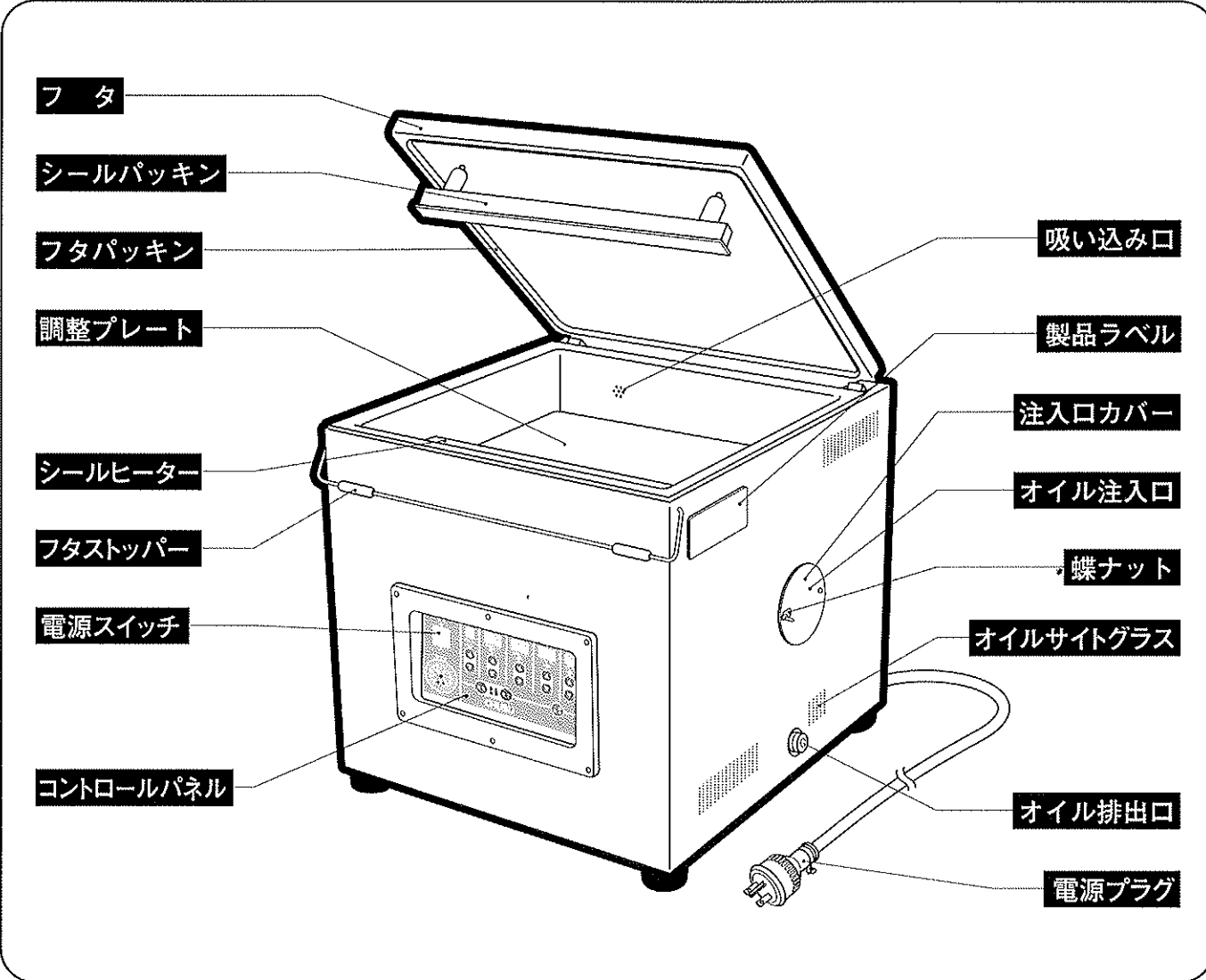
注意

- 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になることがあります。

（機械周辺の気温は、10度以下にならない、風通しの良い場所においてください。（これで作動中のポンプ温度を正常な70～80度に保てます。）それより低い温度では、バキュームポンプ内の、オイルの粘性が高まりポンプがうまく作動しなくなるおそれがあります。）
- 1日の営業が終了したら、安全のため電源スイッチを「切」にし、電源プラグをコンセントから抜くこと
電源プラグやコンセント部にほこりが溜って発熱、発火の原因になることがあります。
- 廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること
放置しますとケガの原因になることがあります。
- このお使いになっている商品を他に売ったり、譲渡されるときは、新しく所有者となる方が安全な正しい使い方を知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること
- バキュームポンプのオイルレベルは作動前、毎回確認すること
装置についているオイルサイトグラスで確認できます。

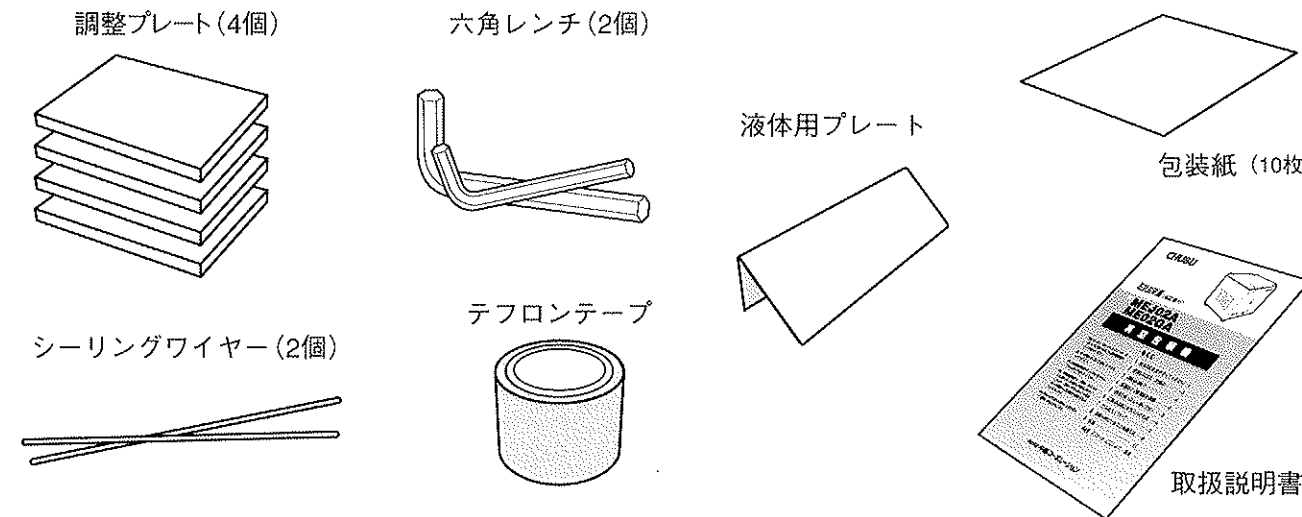
各部のなまえ

2



付 属 品

●納入されたとき、下記の付属品がすべて揃っているか確認してください。もし足りないものがありましたら販売店にお問い合わせください。



③

消耗品の紹介

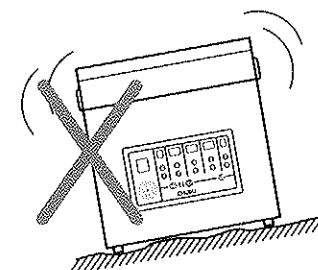
3

品 名	交 換 時 期	磨耗などで減ってきたら部品を交換してください。 交換作業は、作業専門者が行なう必要がありますので販売店に連絡してください。 (部品は有償です。)
テフロンテープ	1 年 4 回	
フタパッキン	1 年 1 回	
シールパッキン	1 年 1 回	
フ タ	2 年 1 回	

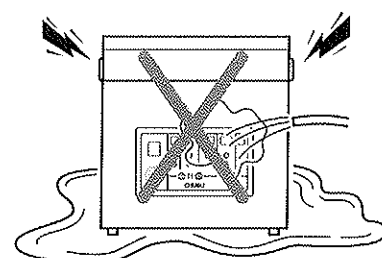
設置および使用前の準備

4

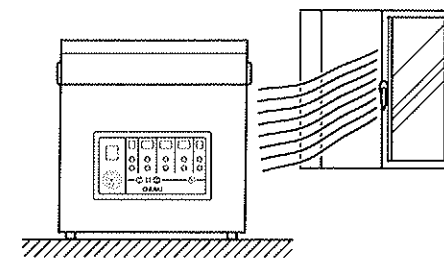
●丈夫で平らな所に水平になるように設置してください。
真空包装機は、蓋を正しく閉じるために、また、バキュームポンプを正しく作動するために、水平な場所に設置してください。



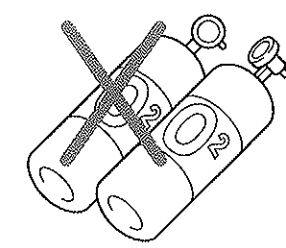
●本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください。
内蔵の真空ポンプに水分が混入して故障の原因になったり、電気部品に水がかかって火災・漏電・感電の原因となることがあります。



●本機周辺の気温は、10度以下にならない、風通しの良い場所に置いてください。
(この状態で、作動中のポンプ温度を正常な70~80度に保てます。) それより低い温度では、バキュームポンプ内の、オイルの粘度が高まりポンプがうまく作動しなくなる恐れがあります。



●ガスオプションを取り付ける場合は、専門業者にご依頼ください。
酸素や他の可燃性のガスは使用できません。
(ME02GAのみ)

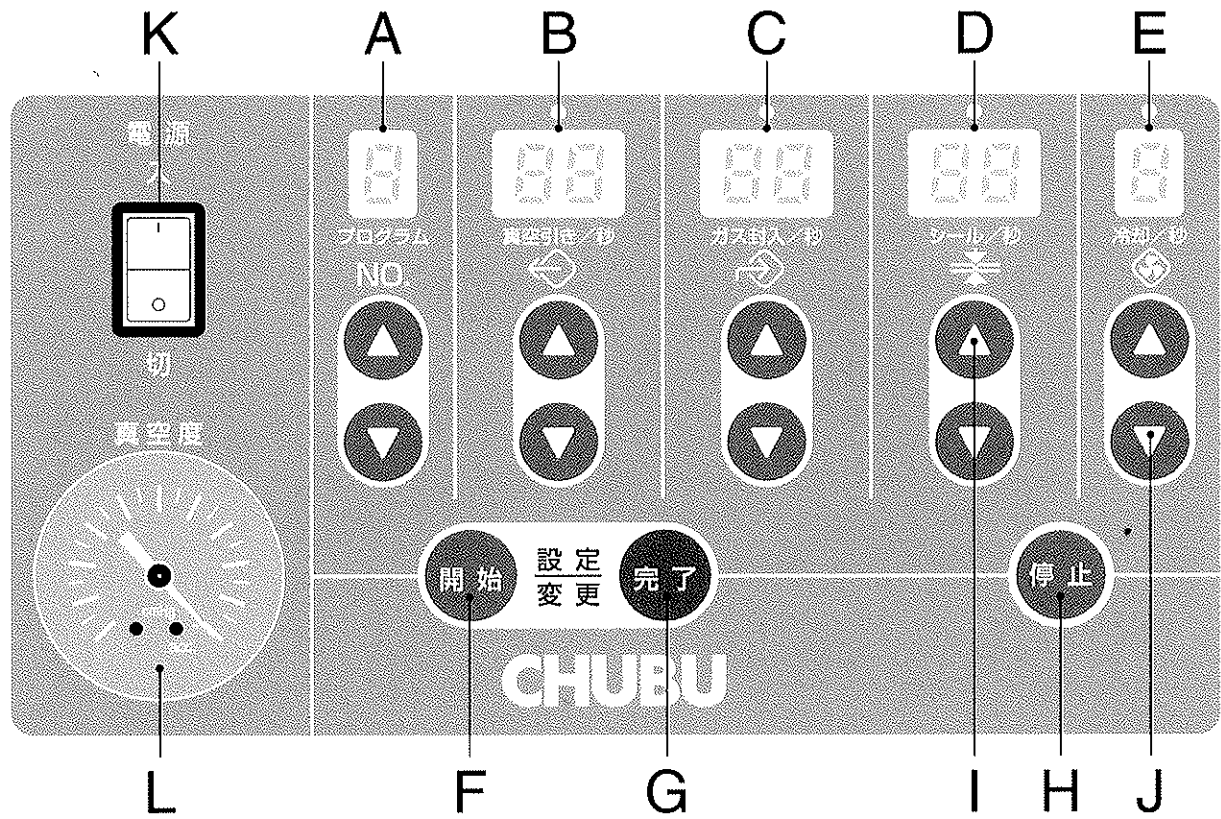


④

使用方法（正しい使い方）

5

コントロールパネルの説明（詳細図）



A	プログラム NO.	プログラムNo.ディスプレイ	G	完了	プログラム変更完了キー
B	真空引き／秒	真空引き時間ディスプレイ	H	停止	途中停止キー
C	ガス封入／秒	ガス封入時間ディスプレイ （ME02GAのみ）（※1）	I	▲	時間増加キー（アップキー）
D	シール／秒	シール時間ディスプレイ	J	▼	時間減少キー（ダウンキー）
E	冷却／秒	冷却時間ディスプレイ （※2）	K	電源スイッチ	
F	開始	プログラム変更開始キー	L	真空度メーター	

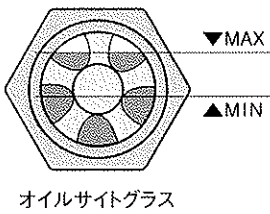
※1） MEJ02Aにはガス封入機能がありませんので、この時間設定は 0 にしてください。時間を設定するとその時間、製品は何の応答もしません。
※2） シール部分の余熱の冷却時間、設定時間の経過後フタが開きます。

基本的な使い方

⚠ 注意

電源コードがコンセントから抜いてあることを確認してください。

1. オイルサイトグラスからオイルの量および汚れ具合をチェックします。
- 製品出荷時にオイルは適量注入してありますが、使用前には必ずオイル量を確認してください。必要ならば交換または補充します。
オイルが白くにごってきたら交換してください。



2. 電源コードをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

200V 7A以上の専用電源を用意してください。

3. フタストッパーを外しフタを開けます。
4. 電源スイッチをオンにします。
5. ディスプレーに自分の使用するプログラムナンバーが表示されるように【プログラム変更開始キー】を押します。【アップ／ダウンキー】でプログラムを選択し、【プログラム変更完了キー】を押します。
6. 使用前には、カラ運転（チャンバー内には何も入れずに）を2～3分間必ず行ってください。
7. 食材を包装袋に入れ、チャンバー内に正しく置きます。（詳しくはP.7をご覧ください。）
8. フタを閉めます。閉めると同時に作動します。（真空引きの工程から始まります。）
9. 最終工程が終了するとフタが開き、自動的に機械が停止します。
- 連続して使用する場合は、手順7～9を繰り返します。
10. 使用後には必ず2～3分間カラ運転を行ってください。
11. 作業が終了したら電源スイッチをオフにし、電源コードをコンセントから抜きます。
12. フタを閉めフタストッパーをかけます。
- ※フタの開閉が作動スイッチになっています。

●工程によって以下のシンボルのLEDが点灯します。

工 程	真空引き	ガス封入 ME02GAのみ MEJ02Aには設定されて いません。	シール	冷 却
シンボル表示	←	→	≡	⦿

使用方法（正しい使い方）

5

プログラムの変更

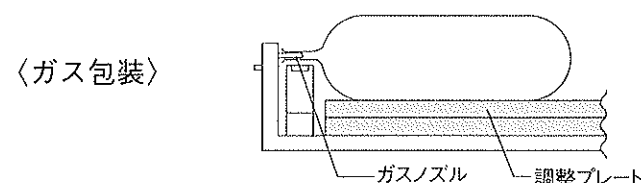
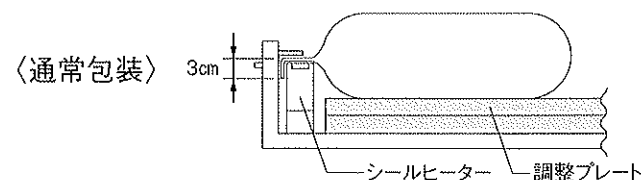
1. フタストッパーを外しフタを開けます。
2. 機械のメイン・スイッチを入れます。コントロール関係が起動します。
3. プログラム変更開始キーを押してください。各ディスプレイが点滅します。
4. アップ／ダウンキーを用いて、プログラムしたいプログラムナンバーを選択してください。
5. それぞれの工程のアップ／ダウンキーを用いて、数値（時間）を調整してください。
6. プログラム変更完了キーを押して変更を保存してください。コントロールがスタンバイ（待機）に戻ります。

（注）途中停止キーを押すことによって、変更が保存（save）されることなく、コントロールがスタンバイ（待機）状態に戻ります。

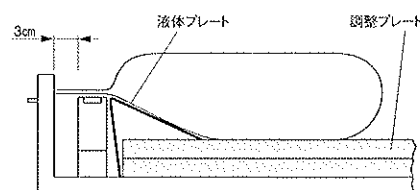
操作上のヒントと注意事項

●包装袋の正しい置き方

包装袋の高さに合うように調整プレートをセットします。袋の開口部は、シールヒーターの上にシワができないよう注意して置きます。また、シールヒーターから袋の先が3cm程度手前まで出します。食材等は袋の中には3/4以上充填しないでください。吹きこぼれの原因となります。袋の開口部は清潔にしておきましょう。



液体を真空包装する場合はこぼれを防ぐために付属の液体用プレートをご使用ください。また、真空パーセンテージにも注意してください。真空パーセンテージが高まるにつれ、液体の沸騰温度が下がる為、あふれだしたりすることがあります。真空袋の中でガス泡が見え始めたら、沸騰温度に達したことになります。次の表は温度や真空パーセンテージによって沸騰温度がどのように変化するかの一例です。



⚠ 注意

万一包装内の液状物が吹きこぼれた場合は、ただちに機械を停止させてください。バキュームポンプの故障の原因となります。

真空度合 対 沸騰温度 比較表

真空度計読み値(cmHg)	0	-10	-20	-30	-40	-50
hp(ヘクトパスカル)換算値	0	-133	-267	-400	-533	-667
真空度(%)	0	13	26	39	53	66
沸騰温度(℃)	100	96	91	87	80	72
真空度計読み値(cmHg)	-60	-70	-73	-75	-76	
hp(ヘクトパスカル)換算値	-800	-933	-973	-1000	-1013	
真空度(%)	79	92	96	99	100	
沸騰温度(℃)	62	42	29	11	—	

●作業中止

何らかの理由で、作業を中止する必要がある場合、途中停止キーを押すと作業が中断し、フタが開きます。再びフタを閉めると真空引きから開始します。※プログラムの数値は変わりません。

日常の点検とお手入れの方法

6

オイル交換の仕方

1. オイルの交換

●オイル交換は以下の手順で実施してください。

- (1) ポンプのカラ運転を行います。(2〜3分間)
- (2) 電源スイッチをOFF(0)/(切)にします。

⚠ 注意

ポンプの動作温度は70℃以上になります。ポンプに触る場合は手袋などを使用するか、温度が下がった状態であることを確認してください。

- (3) オイル排出口の下に容器を用意し、栓を外してオイルを排出します。(付属のレンチを使用します。)

⚠ 注意

排出したオイルは回収して地域の該当する規制に応じた処理を行うようにしてください。

機械を長持ちさせるため、日頃から次のことを留意してください。

- チャンバー内は常に清潔に保つとともに食材のカス、水分等が残存している場合は、必ず清掃を行ってください。
- 消耗部品であるフタパッキンおよびテフロンテープを日頃から常に点検してください。(真空包装の質に大きく影響します。)
- ポンプの寿命を長持ちさせるために、使用前、使用後に、カラ運転を行い、オイルの水分を蒸発させてください。フタの落ちにくい汚れはぬるま湯か水で薄めた食器用液体洗剤をしみこませた布でふき、そのあと水ぶきしてください。(フタのゆがみの原因となりますので、中性以外の洗剤は使用しないでください。)
- オイルサイトグラスからオイルの量および汚れ具合をチェックしてください。必要ならば交換または補充してください。

オイル交換について

最初のオイル交換は、約100時間運転後または2ヶ月後、2回目からは、約200時間または3ヶ月を目安に交換してください。前記以外に液体などを機械内部に吸収させてしまって、オイルが変色した場合は速やかにオイル交換を行ってください。

指定オイル・標準容量

オイル購入時は販売会社にお問い合わせの上、下記指定汎用潤滑油をご指定ください。車両用エンジンオイルは絶対に使用しないでください。

指 定 オ イ ル	標 準 容 量
ISO規格 VG32	450〜500cc

(容量はあくまで目安です。オイルサイトグラスを見ながら注油してください。)

2. オイルの充填

●オイル充填は以下の手順で実施してください。

- (1) 注入口カバーの蝶ナットをゆるめ、カバーを開けます。
- (2) オイル注入口・キャップを外します。(付属のレンチを使用します。)
- (3) ポンプにオイルをオイルゲージを見ながら最大レベルまで充填します。指定の潤滑油を使用してください。不明な点がある場合は販売会社へお問合せください。
- (4) オイル注入口・キャップを元どりに取り付けます。
- (5) 注入口カバーを元のように戻し、蝶ナットを締めて固定します。
- (6) バック動作のサイクルを数回実施した後でオイル量を確認します。必要に応じてオイルを補充します。

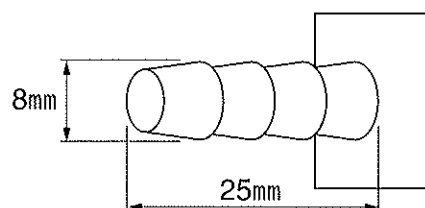
ガス封入について (ME02GAのみ)

7

ガス封入について

ポンペ	1.5m使用
総体気圧調整器	1kgcm ² ~1.5kgcm ²
流量計	15ℓ/min

※詳しくは専門業者にご相談ください。



⚠ 注意

ガス包装をする場合は必ず専門業者にご相談ください。

食品保存用ガスについて

- 窒素ガス (N₂)
窒素ガスは無味・無臭で水への溶解度がほとんど無い不活性ガスのため、食品の酸化防止、細菌の発育防止用として広く利用されています。しかし、静菌作用はないためカビの発育防止には高比率のガス置換が必要となります。
- 炭酸ガス (CO₂)
炭酸ガスは窒素ガスと同様に不活性ガスですが、カビや偏性好性菌の発育を抑える静菌作用があります。しかし、水や油には溶解しやすいため、食品の味覚を微妙に変えたり、包装後、袋の体積が縮小したりすることがあります。
- 炭酸ガス+窒素ガス (CO₂+N₂)
炭酸ガス濃度の高いほど、食品の保存効果は大きいのですが、味覚の変化を防ぎ、袋の体積を維持するために、窒素ガスが適量混合されています。

⚠ 警告

ガス数値が20%以下にならないようご注意ください。ここまで下がりますと、袋が正しくシールされない可能性があります。数値は30%以上にしてください。

爆発の危険があるため、20%以上の酸素を含んだガス混合物または可燃性のガスを使用することは厳重に禁止されています。酸素・可燃性のガスを使用したために破損もしくは事故が生じた場合は、弊社の保証と責任はすべて無効となります。

真空度合 対 沸騰温度 比較表

真空度計読み値(cmHg)	0	-10	-20	-30	-40	-50
hp (ヘクトパスカル)換算値	0	-133	-267	-400	-533	-667
真空度 (%)	0	13	26	39	53	66
沸騰温度 (℃)	100	96	91	87	80	72
真空度計読み値(cmHg)	-60	-70	-73	-75	-76	
hp (ヘクトパスカル)換算値	-800	-933	-973	-1000	-1013	
真空度 (%)	79	92	96	99	100	
沸騰温度 (℃)	62	42	29	11	—	

故障の見分け方と処置方法

8

症 状	原 因	処 置 方 法
機械が運転しない。 ディスプレイに表示が出ない。	・電源プラグがコンセントから外れています。 ・電源スイッチがOFFになっている。	・電源プラグをコンセントに正しく差し込んでください。 ・電源スイッチをONにしてください。
機械は運転しないが、ディスプレイの表示は出る。	・電圧・電気容量の不足。	・電気工事業者にご相談ください。
真空ポンプの力が弱い。	・オイルが固まりかけているか、もしくは、温度が低すぎます。	・包装をやめ、機械だけを運転させてカラ運転を行ってください。 ・オイルが汚れていたら新しいオイルに交換してください。 ・販売会社にご相談ください。
真空不足。	・真空引きの時間の設定が短かすぎます。 ・ポンプの中のオイルが不足しています。 ・オイルが汚れており、取り替える必要があります。 ・吸引フィルターが詰まっています。 ・オイルプレーフィルターが詰まっています。 ・フタパッキンが破損しています。	・真空引きの時間の設定を長くしてください。 ・オイルを補充してください。 ・オイルを取り替えてください。 ・販売会社にご連絡ください。 ・販売会社にご連絡ください。 ・フタパッキンを取り替えてください。
包装内の真空不足。	・包装袋の質が違います。 ・包装袋が破損してしまっています。 ・シールパッキンとシールヒーターの間のスペースが足りません。	・正しいタイプの包装袋をお選びください。 ・包装袋内の食材をできるだけ角ができないよう丸くまとめて置き直してください。 ・シールパッキンの位置をチェックしてください。
包装袋が正しくシールされない。	・袋がシールヒーターの上に正しく置かれていません。 ・シール時間が正しくありません。 ・シーリングワイヤーが破損しています。 ・シールヒーターが汚れています。 ・テフロンテープが消耗しています。 ・シールパッキンが破損しています。 ・包装袋の質が違います。 ・包装袋の開口部が妨げられています。	・包装袋の開口部をシールヒーターの上に正しく置きましょう。 ・シール時間の数値を調節してください。 ・シーリングワイヤーを取り替えてください。 ・シールヒーターを洗浄しましょう。 ・テフロンテープを取り替えてください。 ・シールパッキンを取り替えてください。 ・正しいタイプの包装袋をお選びください。 ・袋の開口部を妨げるものは取り外してください。包装物の入り口は清潔にしてください。

MEMO

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 謝った使用目的・使用方法・改造・不当な修理による故障または損傷。
 - 落下・引っ越し・輸送などによる故障または損傷。
 - 火災・地震など天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 消耗品の交換（消耗品とは、テフロンテープ・フタパッキン・シールパッキン・フタ・ガスダンパー・振動吸引ゴム）
 - 保証書のないもの。
 - 保証書の*印欄に記入のないもの。あるいは字句を書き換えられた場合。
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用する場合のみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証（操業保証）はいたしません。

●修理メモ

仕 様

型 式	MEJ02A ・ ME02GA
外形寸法(幅×奥行×高さ)	490×550×510mm
電 源	単相200V 50/60Hz
消費電力(50/60Hz)	1100/1120w
ヒートシール可能寸法 (幅×奥行×高さ)	420×390×165mm
バキュームポンプ能力	20/22 m³/h
製 品 質 量	80kg